



自由民主党議員 伊東 しんじ

都市計画道路補助220号線

補助220号線と妙正寺川流域に都市計画決定している総合公園の重複部は、公園用地として取得後に道路整備がなされるのか。

当該の都市計画公園は整備未着手であり事業化の予定もなく用地取得も未定で、道路整備との関係も未定である。

鉄道上部空間活用

駅直近の鉄道上部空間は、歩車分離により、歩行者動線の円滑性、安全性を担保すると同時ににぎわいや活性化を図り、歩行者の快適性と権利者の資産活用を図るべきでは。



自由民主党議員 篠 国昭

労働環境のモニタリング

指定管理者の中には、コスト重視により、適正な労働環境が確保されず、労働者の意欲が低下し、区民サービスが低下する事態も危惧される。

指定管理者へのヒアリング等により、業務の適正な履行を確保していく。

災害時避難行動要支援者名簿

避難所運営本部に、新しく、(仮称)避難所支援部を立ち上げる取り組みがあるが、どういった内容なのか。



自由民主党議員 大内 しんじ

旧第六中学校跡地の整備

旧六中跡地の東側と南側の道路整備の進捗状況は、境界線の調整など、早期着工の準備を行っている。

区民活動センターの今後

旧野方地域センターと区民活動センターの職員数は、旧センターは8人、現在は11から12人を配置している。

岩井臨海学園の復活

臨海学園は子どもの体力向上、日常生活では得られない集団的生活、自然体験ができる。民間事業者を活用し、学校単位の実施はできないか。



自由民主党議員 吉田 良輔

平成26年度決算

財政的な非常事態宣言が出されていたが、平成26年度決算では実質単年度収支が黒字となっており、宣言発令の根拠は崩れているのでは。

町会支援

行政の仕事や、地域との協働という形で町会連合会や各単位町会にお願いしているが、その財政効果はどれくらいになるのか。



公明党議員 平山 英明

防災情報の伝達手段

洪水ハザードマップの配布に併せて、防災情報メールへの登録勧奨を行ったのか。

マップと一緒に配付したチラシで登録の促進を行った。その結果は。

139件の増加があった。区が作成した、災害時用のホームページの運用に対するガイドラインはあるのか。

現在は策定していない。緊急事態における、さまざまな場合を想定したガイドラインを作成すべきでは。



公明党議員 平山 英明

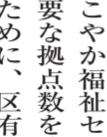
地域子育て支援拠点事業

事業の実施場所を、すこやか福祉センター管内の複数箇所と計画しているが、どのような機能の施設を想定しているのか。

育成活動のネットワークづくりの要となるにふさわしい施設を想定している。

利便性、施設の機能等を考慮すると、現在の児童館施設での実施が望ましいのでは。

すこやか福祉センター圏域に必要な拠点数を適正に配置するために、区有施設を含めて検討していく。



公明党議員 平山 英明

高齢者専用住宅の誘致

高齢者が快適に大和町内に住み続けられるよう、サービス付きの高齢者専用住宅の誘致を行うべきでは。

高齢者をはじめ子育て世代に対する施設の誘導も重要な課題と考えている。

私立幼稚園連合会の楽しい園児の集いなど、これまで後援を行ってきた催しが、来年度会場変更等で使用料が以前よりも高額となる場合、補

助金の増額を検討すべきでは。集いが継続できるような支援のあり方を検討したい。



自由民主党議員 高橋 ちあき

子ども教育施策

学期制のあり方について課題として取り上げ、新しい3学期制を検討すべきでは。

本年度実施する調査結果等を踏まえ、対応を考えたい。

学期制検討委員会を設置する考えはあるのか。

地域支えあいを推進する組織 地域の支えあい推進を目的とする、区の顔であるすこやか福祉センターは、区都合ではなく区民にとってわかりやすい組織にすべきでは。



自由民主党議員 高橋 ちあき

スポーツ・コミュニティプラザの開設

スポーツ・コミュニティプラザは区民にあまり知られていない。この事業を推進するための今後の取り組みは。

情報交換、協働の事業の実施等を通じて連携を深め、施設利用者にわかりやすい事業展開をしていきたい。

子ども教育施策 学期制のあり方について課題として取り上げ、新しい3学期制を検討すべきでは。

みんなでみてね 「中野区議会」キッズページ

中野区議会ホームページのキッズページでは、議会のしくみをわかりやすく説明しています。ホームページの「キッズページを見る」から見られます。どうぞご利用ください。

★中野区議会ホームページURL <http://kugikai-nakano.jp/>